



前進！久賀

豊かな心を持ち、創造性に富むたくましい子供

～気づき、考え、実行する 久賀っ子～

令和6年8月29日（木）

多古町立久賀小学校

「あそびの久賀っ子」さらなる成長を！

夏休みが終わり、久賀っ子たちの元気な声が学校に戻ってきました。すてきな笑顔で話しかけてくる久賀っ子たちの表情や仕草からは充実した夏休みが過ごせたことを感じ取ることができました。

さて、これまでに「あいさつ」「そうじ」「べんきょう」「ルール」について取り上げてきましたが今回は「あそびの久賀っ子」の「あそび」について紹介いたします。

「あそび」とは遊ぶことができることです。今の時代、近所の友達と放課後に集まって体を動かして遊ぶという経験をするのが難しくなっています。だからこそ、学校で友達と体を動かして遊ぶという経験をたくさんさせてあげたいと考えます。遊びの中から社会性や人間性が育まれていきます。最初は同じ学年の友達と遊んでいた久賀っ子たちも、いつのころからか様々な学年の友達と遊ぶ姿が増えてきました。これからは様々な学年の友達と遊ぶを通して、上級生は心にゆとりをもって下級生に接することを学び、下級生は上級生の優しさや気配りを感じ、自分たちが上級生になったときにその優しさや気配りを下の学年の友達に伝えてほしいです。それぞれの立場でのこれらの経験が社会性や人間性の成長につながります。

また、遊びの中ではたくさんの笑顔が生まれてきます。同級生でも授業中とは違った姿を見せたり、他の学年の友達と通じ合ったりしたときなどの、自然な笑顔ほどすてきなものはありません。その笑顔を、久賀っ子のみんなに広げていきたいです。

そして、遊びの中で身につく「心のゆとり」。これは、たくさんの遊びを経験したからこそ生まれてくるものです。日常生活の中で使用するものにも遊びを必要としているものはたくさんあります。たとえば、自転車のブレーキにも遊びの部分があります。ブレーキに遊びがなければブレーキがすぐにかかってしまい安全とは言えません。ただ、遊びの部分が多すぎるとそれはそれで安全ではなくなります。つまり、「いい加減」の遊びでなければならないのです。その「さじ加減」も遊びを通して学ぶことができます。

久賀小学校ではたくさんの遊びの中から様々な学びを実感し、生きる力を身に付けて社会に羽ばたける久賀っ子を育てていきたいです。

前期の学校生活も後半になりなります。前期終了までのおよそ1か月半で久賀っ子たちのさらなる成長をめざし、職員一丸となって教育活動に取り組んでまいります。引き続き変わらぬご支援ご協力をお願いいたします。



夏休みに成長した植物たち



「8・9月の主な行事」につきましては学校だより「前進！久賀 No.4」にありますのでそちらでご確認ください。過去の学校だより「前進！久賀」は久賀小学校ホームページからダウンロードすることもできます。